

2018 びわこペーロン
DRAGON BOAT RACE IN BIWAKO

実施要領

主催 びわ湖ペーロン実行委員会
びわ湖放送
主管 滋賀県ドラゴンボート協会

はじめに

ペーロン競漕は、滋賀県と友好関係にある中国の湖南省が発祥の地と言われています。そのルーツは、中国・戦国時代、楚国の名宰屈原は愛する国の暗黒政治を嘆き、汨羅江に身を投じました。屈原を慕う漁民達が、三日三晩遺体を捜し回ったが、必死の捜索も空しく遺体を見付けることが出来なかったということです。

それ以来、旧暦5月5日に屈原を偲び竜舟競漕が行われるようになりました。

日本では、江戸時代初期、長崎港を訪れた中国船が嵐に遭い、船員が海神に波風を鎮めてもらおうと手漕ぎ舟競漕をした事が始まりとされ、大正11年には、兵庫県の相生市に広がり、さらに沖縄でも年中行事として行われるようになりました。

ペーロン発祥の地といわれる中国・湖南省と友好関係にある滋賀県で、日本一の琵琶湖を舞台に異国情緒一杯に、今年も繰り広げます。

そして、このペーロン競漕を通して、

- 1) 琵琶湖の水を守る心を育む。
- 2) 地域の連帯と協力を深めるコミュニティづくり。
- 3) 国際親善交流に寄与する。
- 4) 県内および他府県からの観光誘致。

などに貢献することを私たちは、主たる目的としています。

○催事名 2018びわこペーロン
 ～美しい琵琶湖を未来に～

○期 日 平成30年8月19日（日） 開会式8時

○会 場 サンシャインビーチ 大津市なぎさ公園・近江大橋西詰

○主 管 滋賀県ドラゴンボート協会

○主 催 びわ湖ペーロン実行委員会
 BBCびわ湖放送

○後 援 滋賀県・滋賀県教育委員会・大津市・大津市教育委員会・(財)滋
 賀県観光連盟・滋賀県国際協会・朝日新聞社・毎日新聞社・読売
 新聞社・産経新聞社・中日新聞社・京都新聞社・共同通信社・
 時事通信社・日本経済新聞社・FM滋賀・NHK・京都放送
 (予定)

○協 力 琵琶湖漕艇協会
 滋賀県カヌー協会
 滋賀県セーリング連盟
 滋賀県漁業協同組合連合会

○競技内容（カテゴリ）

■ 20人漕ぎの部 一般

■ 10人漕ぎの部 一般 混合 女子

合計60チーム（予定）

※10人漕ぎ混合は男女いずれも4名以上必須

○表彰

各部タイムによる上位3チームを入賞とし、各賞に表彰状、カップ、記念品を授与する。

○チーム編成

監督 1名 漕手 20名 太鼓 1名
舵手 1名 計 23名

○選手資格

16歳以上 ※健康でかつ泳力に自信のある者
(100m以上の泳力を有する者のみ)

13歳以上15歳以下についても、下記条件に限り出場可

◆10人漕ぎ 漕ぎ手2名、太鼓1名 計3名まで

◆20人漕ぎ 漕ぎ手4名、太鼓1名 計5名まで

○競技内容

各部トーナメント方式

各部、予選、敗者復活戦、準決勝戦、決勝戦を実施

○コース

直線ワンウェイ 300m 5コース設置

※今年度より400mから300mに変更

○組合わせ

2018びわこペーロン選手団説明会時の抽選会において決定

○警備及び救護

大津警察署と協議の上、会場周辺に警備員を10名配置。

湖上に関しては、警備艇1艇、監視（救助）艇3艇、報道艇1艇、合計5艇のモーターボートを配置。医師1名看護婦1名待機。大津市民病院、大津赤十字病院、社会保険滋賀病院に事故に備えて受入れ体制を依頼。スポーツ傷害保険に主催者側が加入。